



議会だより つしま

No.30
2025
11月
令和7年



私たちはこの笑顔を守ります

「和多都美神社古式大祭 餅まき」

もくじ

- ★第3回定例会の概要 2
- ★所管事務調査報告 10~11
- ★委員会等報告 3
- ★主な活動報告・議員研修会報告 12
- ★常任委員会審査報告 4~6
- ★議員紹介 13
- ★定例会一般質問概要 7~9
- ★特別委員会報告・編集後記 14

発行：対馬市議会

編集：対馬市議会広報編集特別委員会

〒817-1201

長崎県対馬市豊玉町仁位380番地

TEL 0920-58-1379 FAX 0920-58-1018

E-mail t_gikai@city-tsushima.jp

令和7年第3回対馬市議会定例会の概要

令和7年第3回定例会が9月9日から9月24日(16日間)の日程で開かれ、提出議案等について審議されました。一般質問は9人が登壇し、活発な議論が展開されました。

本会議最終日には、議会改革特別委員会が設置されました。

主な議案等

予 算 案 5件

（※）全件 可決

(令和7年度対馬市一般会計補正予算(第6号) ほか)

(※)議案第48号 令和7年度対馬市一般会計補正予算(第6号)について、反対討論1件

認 定 案 8件

継続審査

(令和6年度対馬市一般会計歳入歳出決算の認定について ほか)

条例改正案 9件

全件 可決

(対馬市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 ほか)

議 決 案 4件

全件 可決

(辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画について ほか)

諮 問 案 5件

全件 同意

(人権擁護委員候補者の推薦について)

同 意 案 1件

同意

(対馬市教育長の任命について)

決 議 案 1件

可決

(議会改革特別委員会の設置に関する決議)

そ の 他 3件

全件 可決

(専決処分の承認を求ることについて(令和7年度対馬市一般会計補正予算(第4号) ほか)

報 告 7件

報告のみ

(令和6事業年度株式会社まちづくり厳原経営状況報告について ほか)

請 願 2件

全件 採択

(義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるため、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願について ほか)

意 見 書 案 2件

全件 可決

(義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書 ほか)

議 長 報 告

(市議会議員一般選挙における選挙公営制度による選挙運動用ポスター作成費用について)

※議案、審議結果は対馬市議会
ホームページに掲載しています。

議 案



審議結果



委員会等報告

国境離島活性化推進特別委員会報告

委員長 上野 洋次郎

議員 諸松 瀬里奈

令和7年8月4日に委員会を開催し、担当部署から有人国境離島法に関する予算の実績と計画について報告を受けた上で、新たな支援策も含めて意見交換を行いました。委員会では、国に対し支援の拡充に努めつつ法律の円滑な延長を最優先とすること、全委員で要望活動を行うこと、対馬市単独で決起集会を開催することを決めました。

また、令和7年8月21日には、長崎県の特定有人国境離島地域に関する5市2町の議長と関連委員会から成る「長崎県国境離島市町議会連絡協議会」が、対馬市交流センターにて開催されました。本市議会からは、私と春田議長、オブザーバーとして作元元議員の3名が出席し、各市町の取組報告を受けた後、今後の活動計画について活発に議論しました。具体的には、全国離島振興市町村議会議長会の開催に合わせて、陳情や要望活動を行うことが決定されたほか、決起集会の開催日程を近隣の市町と調整して情報共有する方針が確認されました。また、各市町独自の要望については個別に機会があるたびに積極的に進めることになりました。

【お知らせ】

令和7年12月6日(土)午後2時30分から、対馬市交流センターイベントホールにおいて、「有人国境離島法改正・延長 対馬市総決起大会」が開催されます。市民の皆様の参加をお待ちしています。

令和7年8月29日、長崎県市町村会館で第2回定例会が開催され、副広域連合長に園田裕史大村市長、吉田慎一長与町長が選任されました。

国が進めようとした段階的な自己負担限度額引き上げは、患者団体の強い反発により再検討中で、秋までに結論が出される予定です。また、地域医療構想の見直しや医師偏在の是正、医療DX推進のための法案が閣議決定され、資格認書の職権交付は来年7月まで延長されました。さらに子ども・子育て支援金制度が創設され、医療保険料として全国民から徴収される方針です。

6月には全国広域連合協議会により、制度基盤強化や財政運営の改善等を求める要望書が厚生労働大臣に提出されました。令和7年度の保険料は、239,500人に賦課され、軽減後総額171億4,635万円、一人あたり71,592円となりました。令和7・8年度の保険料率は、令和8年2月議会で上程予定で、子育て支援金や診療報酬改定が影響を与える可能性があります。

議案審議では、議員の仕事と育児の両立支援制度拡充を目的とする条例改正、令和6年度一般会計及び特別会計決算案が可決されました。監査委員は今後厳しい財政運営が予想されると指摘し、効率的な事務運営と中長期的対応を求めました。最後に滞納状況や医療費の増加要因、マイナンバーカードへの移行に関する一般質問が行われました。

長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員報告

産業建設委員会

常任委員会審査報告(第3回定例会付託案件)

本委員会に付託された【議案第48号】及び【議案第60号】は、慎重に審査し、採決した結果、いずれも賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定。

【議案第48号】令和7年度対馬市一般会計補正予算(第6号)

- ◎歳入の主な追加補正予算
 - ・公共土木施設災害復旧費負担金、林業費補助金
 - ・ながさき森林担い手対策事業補助金
 - ・農林水産施設災害復旧費補助金
 - ・新たにチャレンジ水産経営応援事業(個人支援)
 - ・対馬博物館への指定寄附金
 - ・森・川・里・海環境保全再生基金繰入金
 - ・河川浚渫事業債
 - ・8月10日の豪雨災害による市道1路線、10河川11箇所の災害復旧債
 - ・農林水産施設災害復旧債
- △歳入の主な削減補正予算
 - ・新たにチャレンジ水産経営応援事業(漁協支援)
 - ・中対馬未来づくりアクションプラン事業
 - ・林業関連運搬船確保支援事業補助金(貨

- ・物運搬船を維持することで林業事業者や森林所有者の収益を確保し、対馬島内各異業種団体の海上輸送に伴う継続性を維持するための補助金)
- ・新たにチャレンジ水産経営応援事業の県支出金
- ・農道の用地測量に伴う委託料
- ・地区要望に伴う工事請負費
- ・朝鮮通信使行列振興会補助金(日韓国交正常化60周年記念)
- ・ほたるの湯及び神話の里の燃料費
- ・峰町共同集合店舗及びほたるの湯、ファミリーパーク、三宇田キャンプ場等の修繕料
- ・鳥帽子岳展望所景観整備委託料
- ・高浜地区急傾斜地崩壊対策事業
- ・2級市道津和唐舟志線道路災害復旧工事
- ・対馬島内11箇所の河川災害復旧工事
- ・農道林道の災害復旧工事に関する工事
- ・上対馬町特產品流通販売施設について、農林漁業者で構成する運営団体の解散以降、ほぼ利用されていない施設の使用制限を緩和し有効活用を図るため、普通財産へ所管替えを行うために必要な改正を行うもの。今後の活用計画は、上対馬地域を中心とした関係機関が実施する上対馬地区海業の活動拠点の一つとして、防波堤を利用した釣り体験受付、イートインスペース、購買スペースを有する施設として活用する予定。

【議案第60号】対馬市特產品流通販売施設条例の一部を改正する条例

●概要

上対馬町特產品流通販売施設について、農林漁業者で構成する運営団体の解散以降、ほぼ利用されていない施設の使用制限を緩和し有効活用を図るため、普通財産へ所管替えを行うために必要な改正を行うもの。今後の活用計画は、上対馬地域を中心とした関係機関が実施する上対馬地区海業の活動拠点の一つとして、防波堤を利用した釣り体験受付、イートインスペース、購買スペースを有する施設として活用する予定。

◆◆◆◆◆委員からの意見◆◆◆◆◆

- ・島おこし協働隊の採用に関して、市の営業活動、報酬の見直しも検討を。
- ・全国各地で多発している大雨災害を教訓に、対馬市内でも災害後の巡回体制の強化や、復旧作業にあたる建設業者との連絡体制や、災害時の早期復旧に向けた建
- ・今後の施設の利活用は、海業事業だけではなく、幅広く市民が有効活用できるような検討を。

◆◆◆◆◆委員からの意見◆◆◆◆◆

- ・林業関連運搬船確保支援事業補助金(貨
- ・離島漁業再生支援交付金
- ・中対馬未来づくりアクションプラン事業
- ・島おこし協働隊の採用に関して、市の営業活動、報酬の見直しも検討を。
- ・全国各地で多発している大雨災害を教訓に、対馬市内でも災害後の巡回体制の強化や、復旧作業にあたる建設業者との連絡体制や、災害時の早期復旧に向けた建
- ・今後の施設の利活用は、海業事業だけではなく、幅広く市民が有効活用できるような検討を。

- ・設業協会等との協議を。
- ・林業関連運搬船に対しても補助金については、補助金負担の公益性や妥当性、将来性について質疑や意見が集中。1年後の経営状況を踏まえ、次年度の補助を再検討することや、3年後を見据えた流通体制の見直し等の必要性が争点。結果、委員会では1名の議員は反対を表明。

総務文教厚生委員会

本委員会に付託された【議案第48号】及び【議案第58号】、【請願第1号】及び【請願第2号】は、慎重に審査し、採決した結果、いずれも賛成多数により、原案のとおり可決・採択すべきものと決定。

【議案第48号】令和7年度対馬市一般会計補正予算（第6号）

◎歳入の主な追加補正予算

- ・文化財施設災害復旧事業補助金
- ・地域生活支援事業補助金及びスポーツ指導者招聘事業の増額による新しい地域経済・生活環境創生交付金
- ・前年度剩余金
- ・J-ALERTシステム更新整備事業債
- ・集会施設改修事業債
- △歳入の主な削減補正予算
- ・財政調整基金繰入金
- ・合併振興基金繰入金（ジェットフォイル更新事業・情報通信基盤整備事業分）
- ・新型コロナウイルスワクチン接種助成金
- ◎歳出の主な追加補正予算
- ・子ども子育て支援金対応のための人事給与システム改修委託料、監査委員交代な

どによる報酬等、標準化システムへの移行に伴う印刷製本費等

・CATV施設、庁舎及び集会施設等の修繕に係る需用費

・唐舟志生活館改修工事請負費

・消防団員報酬の支払い額訂正などに係る償還金、利子及び割引料

・障害福祉サービス就労選択支援創設に伴うシステム改修委託料、介護保険低所得者保険料負担金清算金、生活保護被保護者調査項目変更に伴うシステム改修委託料

・対馬クリーンセンター1年次点検・補修業務委託料

・J-ALERTシステム更新委託料、消防署修工事請負費

・美津島出張所女性用シャワー・トイregor修工事請負費

・学校・社会教育施設修繕料、学校給食会委託料

・万松院灯籠補修工事請負費

△歳出の主な削減補正予算

- ・事務所立地場所変更による業務開始延期に伴う電話対応業務委託料
- ・情報通信基盤加入者専用設備整備に係る負担金
- ・後期高齢者医療特別会計繰出金
- ・新型コロナウイルスワクチン定期接種委託料
- ・島おこし協働隊に係る報酬等

委員からの意見

・島おこし協働隊の採用に関して、応募要領や必要性を再検討し、専門性を發揮できる適正な人材の確保を推進していただきたい。

・ジェットフォイル更新支援事業では、契約から引渡の間において、国・県・事業者及び壱岐市と継続的な情報共有と他の主要事業と同様に早期の情報提供をお願いしたい。

【議案第58号】対馬市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び対馬市一般廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例

●概要

燃料費・電気料金の高騰及び焼却施設の老朽化に伴う経費の増加と、可燃ごみに資源ごみが混入する等の分別が徹底されていない現状から、資源ごみ袋料金の値下げ（大・30円→20円・小・20円→15円・ミニ・10円→5円）、一般廃棄物処理手数料の引き上げ（100kgまで…200円→300円・50kg増すごとに…78円→100円）、事業系一般廃棄物手数料の引き上げ（100kgまで…520円→600円・10kg増すごとに…26円→50円）、上地区的資源ごみ回収を令和8年度から月2回へ増加するための改正を行うもの。今後はリサイクルの普及推進とごみの分別促進及び廃棄物処理施設の

常任委員会審査報告(第3回定例会付託案件)

安定した運営を目指す方針。

委員からの意見

- 改正目的の効果に関するデータの収集・分析を適宜行い、分別要領の検討も含め、更なる事業成果の向上を図つてもらいたい。生ごみ回収事業の推進により、燃料費の削減と廃棄物処理施設の安定的な運営を目指してもらいたい。

【請願第1号】義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願について

● 概要

学校現場では課題が山積し、加配教員の増員や少數職種の配置増などの教職員定数改善が不可欠。自治体独自の財源対応では教育格差が生じるため、国による財源保障が必要。義務教育費国庫負担制度は2006年度に負担率が「1／2↓1／3」に引き下げられており、再度引き上げが求められる。全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられる条件整備が不可欠。

委員からの意見

- 教育の機会均等と水準向上のため、国庫負担率引き上げを求める請願の趣旨は理解できる。

【請願第2号】ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願について

● 概要

学級編制標準は2021年度法改正で小学校35人学級が段階的に導入されており、今後は中学校・高校にも早期導入すべき。少人数学級や複式学級の基準の見直しが必要。児童・生徒の学力保障の観点から複式学級編成基準の引き下げが必要。

委員からの意見

- 学級編制標準の引き下げ等による少人数学級の検討や加配教員の増員等の教職員定数改善、教員の待遇改善を求める趣旨は理解できる。



議会改革特別委員会の設置決議

対馬市議会基本条例は、対馬市議会の

基本理念、基本方針、その他議会に係る基本的事項を定めた議会における最高規範です。同条例は、平成29年4月1日に施行して以来、一度も見直しや検証を行っていませんでした。また、二元代表制の一翼を担う議会が十分機能するために、議会の質的充実を図る改革が求められています。

このような状況の中、去る6月27日の議員全員協議会において、議会改革を図る目的で特別委員会を設置すべきとの申し合せがあり、9月定例会最終日に議員発議による上程を行い、全会一致で可決されました。設置後直ちに第1回目の委員会が招集され、委員長に島居真吾委員、副委員長に脇本啓喜委員が選任されました。

1. 名称…議会改革特別委員会
2. 目的…対馬市議会基本条例の検証、及び議会改革にかかる調査、研究
3. 委員の定数…16人

(議長を除く議員全員)

4. 期間…委員会の目的が達成されるまで。ただし、閉会中も活動を行うことができる。

市政を問う 一般質問の概要

一般質問の会議録は、
12月上旬に掲載予定です。



質問

外国人による不動産取得の規制

防衛施設周辺の特別注視区域を中心とした外国人所有不動産の調査・管理を実施し、国に対して早急な法整備を求める考えは。

市長の回答概要

現状、外国人との土地取引に関し規制がなく、調査及び管理は困難である。国・県・県内自治体でも、特に問題となっている案件はない。

議員の主張・ポイント

今後の対馬の安全保障上の問題やインフラ整備等を考え、有人国境離島法延長項目として、対馬全島を対象とした法整備を国に対し強く求めるべきである。

質問者

糸瀬 雅之
議員

質問

対馬市の水産振興

将来的な水産業として、海水温の上昇や天候不良の影響を受けない陸上養殖(サーモン)を推進し、新たな対馬ブランドとして調査研究する考えは。

市長の回答概要

陸上養殖の推進は、対馬市の水産業に新たな活路を開く可能性を秘めており、行政としても、事業化に向けた助言・各種補助金制度の活用支援を行い、持続可能で強靭な水産業の構築を目指す。

議員の主張・ポイント

対馬市の水産業も180度転換期が来ており、これまでの補助金の活用を見直し、漁師及び漁協が儲かる仕組みを構築すべきである。

質問

ごみゼロアイランド対馬宣言の成果と今後

ごみゼロを目指している対馬市は、ごみ処理費用の削減にどう挑戦しているか。

市長の回答概要

生ごみ分別・堆肥化に力を入れてきた。資源ごみ袋の料金を下げる、分別をさらに促していく。

質問者

吉野 元
議員

質問

生ごみ回収事業の現状と戦略的な仕掛け

市民や事業者が生ごみの分別を徹底するための戦略的な仕掛けは。

市長の回答概要

回収量の増えるポリバケツ方式を公営住宅から順に導入すべく検討。事業者や子どもへの説明機会も設ける。

質問

小学生低学年や乳幼児の室内遊び場の創設

荒天時、子ども達が安心して遊べる屋内施設が不足している。市が所有の施設を有効活用した創設を検討いただきたい。

市長の回答概要

子ども達の遊び場として、交流センター展示室の空き期間を有効活用していくと考えている。

質問者

東 圭一
議員

質問

準島民の航路・航空運賃の補助対象拡大

元島民の帰省に対する運賃補助制度について、市はどのような対応をしているか。

市長の回答概要

住民だけではなく対象となる範囲の拡大を図るため、関係離島の市町と共に国、県へ要望している。

質問

議員の主張・ポイント

子育て世代が安心して暮らせる環境を整えることは、定住推進にもつながり、地域の活性化に大きく貢献する。

議員の主張・ポイント

ふるさと納税、グループ割引事業企画など、これらを利用していただきながら、次の一手を考えていきましょう。

市政を問う 一般質問の概要

一般質問の会議録は、
12月上旬に掲載予定です。



大阪・関西万博の総括①

社会問題解決に能動的に取り組む後継者育成の観点から、島内イベントでリユース食器を義務付けてはどうか。

市長の回答概要

プラスチックごみの削減や、子ども達が環境課題に主体的に取り組める有意義な提案だが、導入には課題がある。

議員の主張・ポイント

社会問題解決を諦めた島には、誰も支援しなくなる。島の将来を担う後継者育成にはきっかけづくりが重要だ。

質問者

脇本 啓喜
議員



大阪・関西万博の総括②

今年度から、漁業由来の魚函等は産業廃棄物として適法に処理されているが、削減策も検討すべきでは。

市長の回答概要

本市は、SDGs未来都市を標榜し、ごみゼロアイランド宣言を掲げている。産廃の資源化、4Rを推進する。

議員の主張・ポイント

対馬の社会問題に挑んでいる人がたくさんいることを世界に発信できた。この取組を継続・発展させましょう。



消防職員の人材確保と勤務環境改善

消防本部は慢性的な人員不足だが、多数の救急対応を強いられている。勤務環境改善と人員確保が急務では。

市長の回答概要

退職理由は様々で、ヒアリング等で職場環境を改善する。また、事務専門の任用職員の採用で事務の負担を軽減している。

議員の主張・ポイント

消防本部内のハラスメント調査の実施と、継続的な事務職員の柔軟な人員配置、各種資格の助成を要望する。

質問者

針谷 広己
議員



学校給食費と運営面の課題

物価高で学校給食費が高騰する中、調理場の運営体制の見直しや、保護者への詳細な説明が必要ではないか。

市長の回答概要

調理場の統合計画はないが、物価高騰への対応は課題と認識する。各種周知案件については、文書等で対応する。

議員の主張・ポイント

財源の面から調理場統合の検討は必要。また、保護者への説明と併せて、児童・生徒の意見の集約を要望する。



あそうベイパーク整備と体験型観光推進策

あそうベイパークの整備方針と自然体験型観光の推進策、地域連携の具体的展望は。

市長の回答概要

管理棟整備や観光体験事業の充実、民間連携を通じて魅力向上と来訪促進を図る。

議員の主張・ポイント

地元事業者を巻き込んだ官民連携により、体験型観光の拠点として再開発を着実に進めてほしい。

質問者

諸松 瀬里奈
議員



JA対馬周辺の安全対策と環境改善

JA対馬周辺の国道における歩行者の安全確保策と、通行環境改善の具体的取組について問う。

市長の回答概要

状況を注視しながら必要に応じて対応を行い、安全性と通行環境の向上に努める。

議員の主張・ポイント

市民の安全確保は市道・国道を問わず行政の責務であり、危険箇所の改善と安心な通行環境を求める。

市政を問う 一般質問の概要

一般質問の会議録は、
12月上旬に掲載予定です。



質問 冷凍施設カミレイの休止後の対策

同施設の再整備・再利用は、より多くの関係者の意見を聴き取り、十分時間をかけまとめる必要がある。

市長の回答概要

当初に比べ、利用状況が低迷しているとの報告もあってはいたが、今後持続性を含め幅広く協議していく所存である。

議員の主張・ポイント

比田勝港は貿易港として大きな取引が見込まれる。施設利用度は大きく変化することになる。(150人体制・売上40億)

質問者

大浦 孝司
議員



質問 食害魚の駆除

食害魚の駆除の成果は上がっているか問う。交付金を活用したイカ柴の取組状況も併せて尋ねる。

市長の回答概要

アイゴ、イスズミ合わせて4500尾捕獲。イカ柴29集落、80組織、2100基投入している。

議員の主張・ポイント

集落の事業者の中で、この問題を深く研究しているグループがあり、イカ柴投入を10倍の規模にしていけば、食害魚の幼魚は水イカの捕食により激減する。

質問

対馬市水道事業

対馬市の水道事業の安全性と、水道管の老朽化問題の改善策について問う。

質問者

佐伯 達也
議員



質問

対馬市における人口減少対策

ライフサイクルの中で、高校卒業時に本人が対馬を離れるのはやむを得ないが、近年、中学卒業時の島外への進学が増えつつある。この現状に対する対策は。

市長の回答概要

現在、対馬市で取り組んでいる対馬3高校魅力化推進事業や移住定住対策等の様々な現行制度を検証しながら、対馬市の魅力づくりに努めている。

議員の主張・ポイント

議会及び対馬市執行部が責任を持って、人口減少対策に取り組んでいきましょう。

質問

ORC航空の就航計画の運航と管理体制

長崎に直結する唯一の航空便だが、昨今遅延や整備不良での当日欠航が相次いでいる。詳しい状況説明を。

質問者

波田 政和
議員



質問

助成や補助対象の決定基準

補助金対象の見直し、補助金に関してガイドラインの設定は。それとも補助金等交付規則の交付要綱で執行か。

市長の回答概要

補助金の適正化法、市補助金交付規則等により対応している。

議員の主張・ポイント

現在、ATR機2機のみで不具合が発生した時の部品・機材の入手が困難。不便をかけないよう迅速な対応を望し、維持確保に努める。

議員の主張・ポイント

公金の支出は、地方自治法の決定基準を超えてはならない。また、補償補填された公金の回収をする。

公金を出している以上、市民への説明は当然。整備体制や運航体制の見直し、海上航路の新設も考えてみては・・・。

所管事務調査報告

産業建設委員会

実施日 令和7年8月8日

参加委員 糸瀬委員長・佐伯副委員長
吉野委員・東委員・黒田委員・波田委員・上野委員・島居委員

方 法 現地視察(雞知団地)、建設部・農林水産部へのヒアリング、意見交換

調査内容 ① 雞知団地整備事業の進捗状況について

- ・雞知団地整備の目的は、老朽化した雞知地区の4団地を集約し、維持管理コストを縮減すること。
- ・概算事業費は34億円、敷地面積は約3,603坪。
- ・鉄筋コンクリート造2階建て、駐車場は75台の予定。
- ・太陽光発電と蓄電池により、共用部分(外灯、浄化槽等)の電力を賄う予定。

(進捗状況は以下のとおり)

- ・令和3年度に基本計画策定。
- ・令和4年度に測量、地質調査及び実施設計。
- ・令和6年12月より、2棟の新築本体工事に着手(進捗率40%)。
- ・令和14年度に全て完成予定。

委員からの意見

- ・工期ごとに計画戸数まで確実な工事完了を。
- ・周辺地域も併せた災害に強い整備を。
- ・太陽光発電の更なる利用を。

調査内容 ② 農林水産部各種補助金の決算額、概要及び実績

農林水産部では、過去3年間に、令和4年度約21億円、令和5年度約20億円、令和6年度約14億円の補助金を支出した。

(主な補助金、事業は以下のとおり)

- ・漁場整備事業補助金(漁礁を22箇所設置)
- ・新たにチャレンジ水産経営応援事業補助金(若い漁業者の新たな取り組み支援、機器整備、漁協等の海業推進、漁業者の経営指導やスマート会計導入講座等の学習会の開催、経営力の強化の支援)
- ・離島漁業再生支援交付金(漁獲物の販売や漁業に必要な資材の入手支援)
- ・特定有人国境離島漁村支援交付金(起業や事業拡大の取り組み支援)
- ・漁業と漁村を支える人づくり事業費補助金(新規漁業者の育成、確保に向けた支援)

委員からの意見

- ・補助金の目的内容によっては費用対効果の検証を。
- ・新規漁業者の育成支援事業は、事業実績の共有を。



所管事務調査報告

総務文教厚生委員会

実施日 令和7年8月25日

参加委員 陶山委員長・内山副委員長
針谷委員・諸松委員・安田委員・坂本委員・脇本委員・大浦委員

方 法 現地視察(対馬クリーンセンター中部中継所)、
未来環境部へのヒアリング、意見交換

調査内容 一般ごみ及び海ごみ、「対馬モデル」に関する現状と今後の展開

(対馬市の一般ごみ及び海ごみの処理に関する現状)

- 令和6年度1万500tの一般廃棄物が搬入。うち1万300tの可燃ごみを焼却。リサイクル可能な品目は島外に搬出され、再資源化。
- 最終処分場の埋め立て可能容量は、今のペース(3年間平均約800m³)でいくと27年間で満杯に。
- 生ごみは、平成27年度から堆肥化事業を実施。令和6年度末で回収世帯2,342世帯、回収量343t、堆肥量28t。堆肥は利用者に無償で配布。
- 海ごみの回収は、毎年約150海岸で実施し、年間8,000~9,000m³の漂着ごみを回収。
- 海洋漂着物対策事業費は、年間3億円前後。回収したごみは、発泡スチロールは50分の1の体積に圧縮、ペットボトルは圧縮、硬質プラスチックはチップ化し、島外で再資源化。リサイクルできないごみは最終処分場へ、チップ化された流木等は脱塩後に焼却(炭化して再利用に取組中)。

(「対馬モデル」の概要)

- 「対馬モデル」はサラヤ、関西再資源ネットワーク、ゼリ・ジャパン、関西経済同友会と対馬市が連携協定に基づき、「循環経済を通じた海洋プラスチックごみ問題の解決を図るモデル」と定義し、再生技術、製品設計、海洋プラスチックごみの流出防止・回収の3つのイノベーションを島内事業者等と連携しながら推進。

今年6月に大阪・関西万博「対馬ウイーク」で、対馬の取り組みを世界に発信。

委員からの意見

- ごみの削減政策も大切。
- ごみの削減による最終処分場の使用年数延長の見込みを明確に。
- 海ごみの回収者の減少を見据えた人材育成に注力を。
- 新たな取り組みや困難な課題があれば、適宜情報提供を。
- カーボンニュートラルの視点で海と山の保全も。
- 対馬モデル推進のための特区指定などの国や国際社会への働きかけを。



主な活動報告

議会議員は、定例会や臨時会のほか、委員会や各種会議、市内の行事等に参加しています。議員の8月～10月の主な活動を報告します。

月	日	内 容	場 所
8	2	対馬厳原港まつり歓迎懇親会	厳原町
8	4	国境離島活性化推進特別委員会	厳原町
8	6	議会広報編集特別委員会	豊玉町
8	8	産業建設委員会所管事務調査	美津島町
8	9	被爆80周年長崎原爆犠牲者慰靈平和祈念式典	長崎市
8	19	長崎県市議会議長会臨時総会・議員研修会(～20日)	厳原町
8	21	長崎県国境離島市町議会連絡協議会	厳原町
8	25	総務文教厚生委員会所管事務調査	峰町・豊玉町
8	26	議員全員協議会	豊玉町
8	27	市道尾浦浅藻線道路改良工事 安神トンネル貫通式	厳原町
8	28	対馬森林組合第24回通常総代会	峰町
8	29	長崎県病院企業団議会全員協議会・議員研修	長崎市
8	29	長崎県後期高齢者医療広域連合議会定例会	長崎市
9	5	議会運営委員会	豊玉町
9	9	令和7年第3回定例会(～24日)	豊玉町
9	14	ながさきピース文化祭2025開会式	佐世保市
9	15	対馬駐屯地創立45周年記念行事	厳原町
9	25	長崎県病院企業団対馬地域病院運営協議会	美津島町
9	26	決算審査特別委員会(～30日)	豊玉町
10	2	対馬市中学校体育大会駅伝競走大会	豊玉町
10	4	日韓国交正常化60周年記念特別展「倭館」オープニングセレモニー	厳原町
10	7	議会広報編集特別委員会	豊玉町
10	9	佐賀県神埼市議会行政視察	豊玉町
10	11	長崎県立対馬青年の家創立50周年記念式典	美津島町
10	14	長崎県市議会議長会行政視察(～16日)	富士市・富士吉田市
10	17	国境離島活性化推進特別委員会	豊玉町
10	20	議会広報編集特別委員会	豊玉町
10	21	産業建設委員会行政視察(～23日)	東彼杵町・周防大島町
10	22	長崎県戦没者追悼式	大村市
10	23	対馬市老人クラブ連合会ゲートボール大会	美津島町
10	26	外間雅広長崎県議長就任祝賀会	佐世保市
10	29	長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員研修会	長崎市
10	29	離島振興市町村議会議長会全国大会等(～31日)	東京都
10	29	議会広報編集特別委員会行政視察(～31日)	糸島市・御船町・久留米市



議会広報編集特別委員会



対馬市中学校体育大会駅伝競走大会



神埼市議会行政視察



議員研修会

【日時】令和7年8月20日(水)
【場所】対馬市交流センター
長崎県市議会議長会主催の議員研修会が、対馬市で開催されました。県下13市の議会議員と議会事務局職員、総勢190名が一堂に会し、株式会社 廣瀬行政研究所 代表取締役 廣瀬和彦氏を講師に迎え、「議会におけるハラスメント」について、研修を深めました。

研修を終えて

官民問わず、ハラスメントに鈍感な組織は、若年層を中心に離職者数抑制を図るどころか、離職者は更に加速すると痛感しました。行政の人事不足はもう「未来の懸念」ではありません。「地方公務員が足りない」というニュースは、他人事だと思つてはいけません。沖縄県のある村では、すでに職員定数の半分が欠員見込みで、県庁からの応援で「その場しのぎ」をしているとの報告があります。専門職は応募ゼロ、現職が辞めたら即詰み。これは対岸の火事と、高を括つていてはいけないでしょう。人余りかつテフレの時代、行政は「安泰」を売りに優秀な若手を確保できてきました。しかし、「ロナ後は、財政より先に人材が尽きる未来が現実化しているとの指摘もあります。入札しても民間が受けない案件が増え、外注も内製もできない」重苦が全国で進行中です。行政機関の離職者増加要因の一つとしても、このご時世、やはりハラスメント等の職場環境の不備があげられています。ハラスメント行為防止策について、自治体及び議会として有効な策を講じていく必要性を改めて感じさせられました。

議員研修会報告

議員紹介

今号から、議席番号順に議員の横顔を紹介します。



議席番号1番 はりや ひろき
針谷 広己 HARIO OKI

座右の銘

「正直は最善の策」見えにくい政治の世界だからこそ、誠実さを胸に、対馬市政に真摯に向き合っていきます。

今、一番ハマっていること

「対馬を知ってもらいたい・足を運んでほしい」という思いで、SNSやアテンド活動にて、対馬の魅力を発信しています。

対馬の好きな場所

漁火公園から眺める朝日と漁り火で、これまで何度も心を救われてきました。この風景は、私にとって大切な原点です。

YOSHINO YOSHINO HAJIME
議席番号2番 よしの はじめ
吉野 元

座右の銘

「為せば成る、為さねば成らぬ、何事も」どんなことも強い意志で行動すれば必ず実現できると思います！

今、一番ハマっていること

「対馬」寝ても覚めても、四六時中、対馬のことばかり考えています。

対馬の好きな場所

白嶽の頂上からの眺望は唯一無二の感動！



MORIMOTO SERINA
議席番号3番 もろまつ せりな
諸松 瀬里奈

座右の銘

「日々是新」過去に囚われることなく今日できる最善を尽くすことで、明日の最善を更新していく。

今、一番ハマっていること

猫動画を見て癒される時間が、毎日の元気のもとになっています。

対馬の好きな場所

城下町に残る石垣に歴史と文化を感じます。



HIGASHI KEIICHI
議席番号4番 ひがし けいいち
東 圭一

座右の銘

「与えたる恩は水に流し、受けたる恩は石に刻め」

今、一番ハマっていること

休日のソフトボール⚾、推し活すること！

対馬の好きな場所

船で行く浅茅湾（下から見る岸壁や橋も好きです。）



有人国境離島法の確実な期限延長を

国境離島活性化推進特別委員会

委員長 上野 洋次郎



特定有人国境離島地域においては、平成29年に有人国境離島法が設定されて以来、当該交付金を活用した各種施策により、その恩恵を享受しているところです。

国境離島は、我が国の領海、排他的経済水域等の保全、海洋資源の利用、多様な文化の継承、自然環境の保全等の観点から極めて重要な役割を担っています。

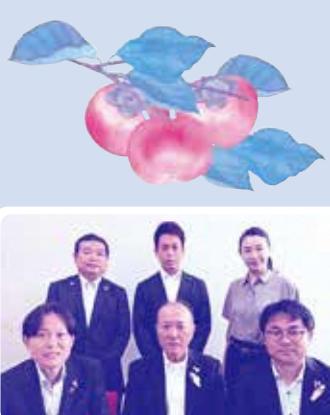
しかしながら、厳しい自然的・社会的条件の下、人口減少や高齢化が急速に進む中、基幹産業である一次産業の低迷に加え、人の往来、生活物資等の輸送費用が他地域に比べ多額である他、医療提供体制や産業基盤、生活環境等が脆弱といった課題が山積し、国境離島をめぐる状況は依然として厳しいところです。ここに生きる人々が将来にわたり安心して暮らし続けられる地域社会を維持していくため、引き続き国の特別な措置を求めていく必要があります。

本特別委員会としては、現行の法律が令和8年度末をもって失効することから、地域の実情や要望をより反映した内容に改正の上、期限延長を県、関係市町と連携しながら、国や国会議員等に働きかけてまいります。

12月定例会のお知らせ

令和7年第4回定例会は、12月上旬に開催を予定しています。

※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



議会広報編集特別委員会

脇本 啓喜・東 圭一・諸松瀬里奈
針谷 広己・島居 真吾・吉野 元

新体制になつてから2回目の定例会を9月に終えました。市民の皆様に市政や議会活動への理解を一層深めていただくべく、本稿の構成や内容を大幅に見直しました。会期中の本会議や委員会での論議に加えて、日常的な議会活動や議員の素顔にも触れていました。より分かりやすく、親しみやすい構成にも努めました。議員一人ひとりが市政をよくしたいという一心で日々活動する様子が伝わる内容になつていれば嬉しい限りです。

まだ試行錯誤の段階ですが、皆様からのご意見を大切にしながら、改善して参ります。ぜひ、ご意見やご感想をお寄せください。

これからも議会に関心を持つていただける情報発信を心がけてまいりますので、どうぞご期待ください。

(文責・吉野元)

編集後記